

第3学年 国語科 年間学習計画

学習目標	1 国語を適切に表現し正確に理解する能力を身につける。 2 伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにする。 3 国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を身につける。
------	---

	単元・題材	学習内容	学習のポイント	関連する道徳の内容項目
前 期	1心の在り方 「わたしを束ねないで」 「握手」 2社会をとらえる 「メディア社会を生きる」 豊かな言葉 「俳句の可能性」	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容や方法について確認する 詩の特徴を生かして朗読する 人物の言葉や動作から、人柄や心情をとらえる メディアとはどのようなものかを考え、問題意識をもつ 俳句について理解し、表現の深さを味わう 	<ul style="list-style-type: none"> 連の初めや繰り返される言葉、比喩、対比の表現に着目し、朗読できる 会話文や出来事の描写から、過去と現在の違いをとらえ、人柄や心情を読み取ることができる メディア社会やその働きについて関心をもち、問題に対する自分の考えをもつことができる 俳句の特徴や約束事を知り、情景や気持ちを自由に読み味わうことができる 敬語表現の特徴をについて理解を深め、相手や目的に応じて言葉を工夫することができる 新聞の特徴を知り、題材を選び、記事を書くことができる 登場人物の心情の変化を読み取ることができる 相手を意識して情報を構成し、話し方を工夫できる 語句や表現に込められた作者の深い思いを感じることができる 情景や人物描写に着目し、主人公の思いや作者のねらいについて考えることができる 比喩や慣用語の効果を理解し、正しく使うことができる テーマに沿って話し合い、相手の意見を大切にしつつ、自分の考えを明らかにできる 	1－(5) 2－(2) 4－(3) 3－(3)
	言語 表現 読書 話す 3状況に生きる 「挨拶 原爆の写真によせて」 「故郷」 言語 話し合う 4古典を楽しむ 「夏草 『おくのほそ道』から」 「学びて時にこれを習ふ 『論語』から」 「古今和歌集 仮名序」 漢字語句・文法 中間テスト・期末テスト	<ul style="list-style-type: none"> 敬語について理解する 構成を考え、出来事を表現する 本を読み味わう 相手に合わせ情報を再構成し、話す 表現に着目し、主題について考える 人物を取り巻く状況や時代背景を考える 情景や人物描写に着目し、心情や作者の意図を読み取る 比喩や慣用語について理解する 根拠を明らかにし、筋道を立てて説明する 話し合いでさらに自分の考えを深める 作者のものの見方や感じ方を読み取る 文語文の特徴に注意して読み味わう 漢文特有の言い回しに注意して音読し、読み慣れる 仮名遣いを復習し注意して音読し、言葉の響きや調子を味わう 漢字・語句・文法的事項の力を伸ばす 	<ul style="list-style-type: none"> 口語訳や脚注を参考に古文を読み、作者の思いを考慮することができる 漢文の言い回しに注意して音読でき、作者のものの見方について自分の考えをもつことができる 1・2年生の学習を生かし、仮名遣いを理解し、古文を音読できる 部首やつくり、同音異義語、同訓異字、熟語、助詞・助動詞の働きなどを理解することができる 	4－(10) 4－(3) 4－(9) 4－(10) 4－(9)
後 期	「君待つと 万葉・古今・新古今」 5論理と展開 「生き物として生きる」 表現 読書 6人間と言葉 「アラスカとの出会い」 「温かいスープ」 「奈々子に」 「はじめてに……」について 表現 漢字語句 中間テスト・学年末テスト	<ul style="list-style-type: none"> 和歌の効果的な表現や語句をとらえ、昔の人の思いや情景を読み味わう 根拠や理由に着目し、論理の展開をとらえる 根拠を挙げて主張を表現する 文章を読み、人々の思いを知る 作品や文章を読んで「出会い」「未来」「人間」「言葉」などについて考える 中学校三年間を振り返り、自分の未来を考え、身につけた国語の力で文章を表現する 漢字・語句の力を伸ばす 	<ul style="list-style-type: none"> 和歌に込められた作者の思いを考え、そのイメージを広げることができる 段落の要旨をまとめながら、そのつながりを意識して全体の主張を読み取ることができる 自分の考えをもち、説得力のある意見文を書くことができる 文章から人々の心情をたどりながら読むことができる 中学校三年間を振り返り、文章や詩に重ねて、自分にとっての「出会い」や「未来」を考えることができる 言葉と人間のかかわりを文章中の語句・表現に着目して読むことができる 三年間の思い出を題材に、未来への思いを込めた文章表現ができる 対義語・類義語などを理解することができる 	3－(1) 1－(5) 2－(2) 4－(6) 1－(4)

評価の観点・評価方法 ①意欲を持って自主的・継続的に学習をすることができる（宿題・ワーク・提出物・授業準備） ②人の考えに耳を傾け、自分のことばで意見を発表することができる（聞く態度・発表・話し方） ③自分の意見を明確にし、読み手に伝わる表現を工夫することができる（作文・ノート・作品・定期テスト） ④文章に表れた情景や心情をとらえ、表現を工夫して朗読できる（朗読・定期テスト） ⑤漢字・語句・文法事項を正しく認識し、文章の中で適切に使うことができる（小テスト・定期テスト）
--